

## 研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、実施機関の長の許可のもとに下記の研究を実施しています。

対象者の方がご自身の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、対象者に不利益となることはありません。

研究課題名	在宅看護学方法論Ⅱにおける客観的臨床能力試験の効果検証
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	責任者：金沢医科大学 看護学部 在宅看護学 蘭直美 分担者：前田修子 伊藤真夕 清嶋茜
研究参加拒否 申込受付期間	2026年 6月 30日 までにお知らせください。上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお問い合わせいたします。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2028年 3月 31日
対象者	2026年度 在宅看護学方法論Ⅱを履修し、OSCE試験に参加した者（3年生）
当該研究の意義・ 目的	本研究の目的は、在宅看護学方法論ⅡにおけるOSCE実施の効果を検証することです。 在宅看護学方法論Ⅱでは、OSCEを実施することで、学生さんの看護実践力を評価できること、看護実践への主体的な学習姿勢の向上に役立つことを期待しています。
方法および研究で 利用する試料・情 報の取得方法	本研究では、OSCE実施の効果を明らかにするために、学生さんの①OSCE評価表の得点、②訪問看護技術記録（OSCE事前課題）の得点、③OSCE自己練習回数、④OSCE模範解答動画の視聴回数、⑤在宅看護学方法論Ⅱの看護過程レポート得点とします。研究者（教員）が、調査内容①～⑤について情報収集を行います。この研究のために、学生さんが新たな記録やアンケートへの記載など、追加で何かを求められることは一切ありません。また、発表時には個人の判別ができないようにいたします。この研究の参加の有無や、研究の成果によって成績などに影響が出る事はありません。 研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。 この研究では検体の取扱いはありません。
利用又は提供する 外部への試料・情 報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記のとおりです。お問い合わせ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはありません。
資料の閲覧及び研 究対象者等の求め に応じて、研究対 象者が識別される 試料・情報の利用	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があります。今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定

又は他の研究機関への提供を停止する旨について	していません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 看護学部 在宅看護学 蘭直美 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：内線 27720 メール： <a href="mailto:ran@kanazawa-med.ac.jp">ran@kanazawa-med.ac.jp</a>

作成日：2026年4月10日